

9月16日：VIC、VHMが売られるも、VN指数は小幅続伸

ホーチミン市場のVN指数は小幅に続伸となった。大型株の一部はさえない動きとなり、午前中の上げ幅を縮める展開となった。

VN指数は前日とほぼ変わらずで、終値は1,345.87ポイントだった。

同指数は前日0.5%上昇していた。

出来高は前日に続き減少し、売買高は前日比13%減の約6億株、売買代金は前日比5%減の18兆2,000億ドン（7億9,140万米ドル）となった。

騰落別では、212銘柄が上昇、187銘柄が下落、69銘柄は変わらずだった。

ビンググループ（VIC）とビンホームズ（VHM）は午後の取引で軟調だった。ビンググループはおよそ4%、ビンホームズは2.2%下落した。

ビンググループの終値は87800ドン（3.82米ドル）となった。今年2月以来の安値となり、売買高は過去5年間で最大となった。この日の出来高は約1900万株（売買代金で1兆6,800億ドン）で、そのうち375万株はプットスルー形式で取引された。

外国人投資家によって1,200万株のビンググループ株が売られたが、国内投資家の買いが吸収した。

コールバーグ・クラビス・ロバーツが保有するファンド（Viking Asia Holding II Pte Ltd）が1年以上前に投資し、1兆ドンを超える含み益を持ったビンホームズ株（約3,200万株）が売却されたという情報を受け、ビンホームズも直近2カ月間の安値である80,100ドンで取引を終えた。

同ファンドは、ビンホームズの株式を昨年6月に1株70,000ドンで買い付けた。売却は8月18日から9月14日の間に行われ、売却の平均価格は108,500ドンだった。

値上がり銘柄では、銀行株が堅調でベトコムバンク（VCB）、ヴィエティンバンク（CTG）、軍隊商業銀行（MBB）、VPバンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）といった銀行株の多くが1%を超える上昇となった。

「出来高は減少したものの、引き続き 50 日出来高移動平均線を上回っている。マーケットは落ち着かない動きだが、利益確定売りの勢いは落ち着いてきている」（ベトドラゴン証券 (VDSC))

「VN 指数は今後上値抵抗線である 1,350 ポイントを再び試すだろう。もし上値抵抗線を上抜けることができるなら、短期的にさらに上値を目指す展開となるだろう。株価を下支えしようとする資金流入が伴い、上値を目指すことが予想される」（同証券会社のアナリスト Phuong Nguyen 氏）

ハノイ市場の HNX 指数は 0.71% 高の 353.24 ポイントだった。

売買高は 1 億 6,650 万株を超え、売買代金は 3 兆 4,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。